

富山県花と緑の祭典2021

第49回

花と緑の大会

と き 令和3年10月13日(水)

ところ 富山県民会館

花がさき
緑がゆれる
町がすき



標語 富山市立大久保小学校3年 高木 優衣
画 富山市立堀川中学校2年 伊藤 咲音

令和3年度 花と緑のコンクール 最優秀賞

公益財団法人 花と緑の銀行

富山県花と緑の祭典2021

第49回 花と緑の大会次第

- I 開 会
- II 知事（名誉会長）あいさつ
- III 花と緑の功労者表彰 1～5
 - 1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰
 - 2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰
- IV 花と緑のコンクール表彰
 - 1 花と緑のポスター原画コンクール 6～8
 - 2 花と緑の標語コンクール 9
 - 3 富山県花のまちづくりコンクール
 - (1) 学校花壇 10～11
 - (2) 幼稚園・保育所花壇 12～13
 - (3) プレミアム花壇 13～15
 - (4) 一般花壇 15～17
 - (5) 花の道 18～19
- V 来賓祝辞
 - 富山県議会議長
 - 富山県緑花推進県民会議会長
- VI 来賓紹介
- VII 記念写真
 - (休 憩)
- VIII 花と緑の講演会 20～21
 - 演題 「心と体にやさしい花と緑の力」
 - 講師 千葉大学大学院 園芸学研究院 岩崎 寛氏
- IX 閉 会

※同時開催 令和3年度 富山県花と緑のコンクール入賞作品・写真展示

Ⅲ 花と緑の功労者表彰

1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰

なか の みつよし
中野 満能（富山市）

平成 14 年に「花と緑の銀行富山支店光陽地方銀行」の頭取に就任し、平成 27 年からは「新根塚町長寿会」の会長として、地域の緑化活動に取り組んでいる。地区の花壇整備に積極的に参加するほか、ミニトマト栽培を通じて地域の子どもの緑化への関心を高める活動を行うなど、地区の緑化や普及啓発に貢献している。

おお た としあき
太田 俊昭（高岡市）

平成 14 年に「花と緑の銀行高岡支店中田地方銀行」のグリーンキーパーに就任し、地区の緑化活動に取り組んでいる。「中田地区花と緑の推進協議会」の副会長として、地区のリーダーを務めるほか、花苗の育成・配布を行うなど、地区の緑化や普及啓発に貢献している。

よこ た
横田 トミエ（魚津市）

平成 19 年に「花と緑の銀行魚津支店経田地方銀行」の頭取に就任し、平成 30 年からはグリーンキーパーとして地区の緑化活動に取り組んでいる。「経田花と緑の会」の会長として、リーダーを務めるほか、花壇のデザイン作成や積極的な花壇造成を行うなど、地区の緑化や普及啓発に貢献している。

しんぼこうくじょせいぶかい
新保校区女性部会（富山市）

平成 11 年に新保校区母親クラブの OG 組織として設立されて以降、新保地区の緑化活動に取り組んでいる。新保地区センター前花壇や県道 69 号の植樹樹・プランターの植栽、管理を行うほか、地域住民への呼びかけも行っており、地区の緑化に貢献している。

おお た はな みどり すいしんきょうぎかい
太田花と緑の推進協議会（砺波市）

平成 4 年に設立されて以降、太田地区の緑化活動に取り組んでいる。国道 359 号沿いのリバーサイドパークや地区花壇の管理を行うほか、庄川さくら堤のソメイヨシノの防除、枝打ちを行うなど、地区の緑化に貢献している。

2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰 (個人の部)

す はら ふみ こ
須原 史子 (富山市)

平成6年に大久保地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、27年にわたり小学生への花の栽培指導を通して若い世代に花と緑に関心を持たせ、世代間交流の場を創出している。

大沢野地域の花壇の植え込みや草取りにも積極的に参加しており、地域を越えた緑化活動に貢献している。

やま もり きよし
山森 潔 (富山市)

平成15年に小見地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成25年からは頭取として、延べ18年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

平成28年からは大山地域頭取・グリーンキーパー活動推進協議会会長として、講習会等の開催により地域の緑化活動に貢献している。

とく だ こ
徳田 まち子 (高岡市)

平成3年に横田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、30年にわたりプラグ苗の育成や維持管理など地域の緑化活動に貢献している。

羽広交差点花壇等の活動拠点を中心に、校下の花と緑の運営に協力するとともに後輩等の指導に尽力している。

やす だ とも こ
安田 奉子 (高岡市)

平成16年に中田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、17年にわたり全日本花いっぱい大会や各種研修に積極的に参加するなど、地区の花と緑の推進に貢献している。

平成17年からは中田地区花と緑の推進協議会の幹事として、会員と共に花壇整備の指導を行い、大きな信頼を得ている。

かな もり あき こ
金森 昭子 (高岡市)

平成20年に定塚校下花と緑の推進員となり、積極的に花壇の維持管理に参加し花と緑のあふれるまちづくりに多大な貢献をしている。

平成27年からは定塚地方銀行のグリーンキーパーとして、6年にわたり古定塚公民館前プランター等の維持管理に尽力している。

すぎ もと のぶ こ
杉本 信子 (高岡市)

平成12年に福田校下花と緑の推進員となり、地域の女性グループに植栽活動の輪を広げ、花の愛好会への参加を促すなど、地域の緑化活動に尽力している。

平成16年からは福田地方銀行のグリーンキーパーとして、17年にわたり花壇コンクールへの参加や花壇デザインの企画等について中心的役割を担っている。

いし もと ぜん いち
石本 善一 (射水市)

平成23年に大島地方銀行頭取に就任して以来、10年にわたり地域の緑化指導者として花と緑の推進に多大な貢献をしてきた。

令和2年4月からは同グリーンキーパーとして地域の花壇づくりに率先して取り組み、地域を花と緑でいっぱいにする活動に尽力している。

あ はら じゅん こ
阿原 潤子 (射水市)

平成17年に櫛田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、16年にわたり地域花壇の管理や小学校跡地に花の道を新設するなど、花と緑の推進に多大な貢献をしている。

平成28年からは大門なでしこ会の事務局長として5つの地方銀行を取りまとめ、射水支店とのパイプ役を担い、花づくりを通じた人々の交流に尽力している。

よつ やなぎ せつ こ
四柳 節子 (射水市)

平成 16 年に作道地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、17 年にわたり地域花壇の管理や指導を積極的に行い、花と緑の推進に多大な貢献をしている。

活動拠点である作道小学校花壇の維持管理に率先して取り組み、地域を花と緑でいっぱいにする活動に尽力している。

はや さき よし ひろ
早崎 嘉博 (魚津市)

平成 11 年に上中島地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、22 年にわたり豊富な専門知識を活かし、緑化指導者として地域の花と緑の推進に多大な貢献をしている。

地域の寄せ植え教室や小学校における花づくりにおいても、指導者として率先して取り組んでいる。

お がわ よし かず
小川 義一 (魚津市)

平成 20 年に村木地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成 24 年からは頭取として、延べ 13 年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

海岸沿いの花壇の植栽管理による景観美化を図るとともに公園花壇を整備し、隣接する保育園児に花に親しむ環境を提供するなど、緑化意識の啓発にも貢献している。

やま ざき きょう こ
山崎 京子 (氷見市)

平成 8 年に窪地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、25 年にわたり地域花壇の維持管理に尽力している。

活動拠点の国指定史跡では、来訪者をおもてなしする花壇の整備に取り組むとともに、地域の小学校では、花づくりのボランティアとして率先して取り組んでいる。

みや ざき ひろ こ
宮崎 博子 (氷見市)

平成 11 年に十二町 1 区地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、22 年にわたり支店が実施する研修等で得た知識や花壇作りの経験を活かして、地域緑化活動に尽力している。

活動拠点となる地元の保育園や小学校では、若い世代とともに植栽や維持管理を行い、担い手育成にも尽力している。

やぶ た りょう こ
藪田 良子 (氷見市)

平成 18 年に稲積地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、15 年にわたり地域花壇への花苗の配布や路傍プランターの設置など、地域住民との連携に貢献している。

これまでの経験や研修等で習得した知識を活かして、園芸初心者に対して熱心に指導することで、地域緑化の基礎を作り上げることに尽力している。

あら と み よ こ
荒戸 美代子 (氷見市)

平成 18 年に十二町 1 区地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、15 年にわたり支店が実施する研修等にも積極的に参加し、地域の緑化指導者として貢献している。

地域内の主要道路では、行き交う通行者を元気づけるために、地元自治会等と協力して花壇の造成や維持管理に尽力している。

はた ひら み な こ
畠平 美浪子 (黒部市)

平成 9 年に生地フラワー友の会会員に就任して以来、地区公民館や公園花壇等の維持管理に尽力している。

平成 12 年からは生地地方銀行のグリーンキーパーとして、21 年にわたり地域緑化の推進に多大な貢献をしている。

みや ざき もり まさ
宮崎 守正 (黒部市)

平成 21 年に大布施地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成 28 年からは頭取として、延べ 12 年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

活動拠点の公民館周辺花壇の維持管理を行うほか、地域緑化を推進するリーダーとして花苗の配布や指導を行うなど、緑化活動の普及に貢献している。

すが の しょう じ
菅野 章二（砺波市）

平成2年に東般若花と緑の推進協議会が発足して以来、地区の緑化活動に積極的に参加し、地区花壇の管理等に尽力している。

平成18年からは東般若地方銀行グリーンキーパーとして、15年にわたり花壇整備をはじめ緑化木の剪定に取り組むなど、地域緑化の推進に貢献している。

かわ はら とし あき
川原 俊昭（小矢部市）

平成24年に北蟹谷地方銀行の頭取に就任して以来、9年にわたり地区の緑化推進計画の策定をはじめ、花壇整備やグリーンキーパーの技術指導など地域緑化の推進に貢献している。

地元公民館では、生垣や桜の剪定を実施するとともに、市内団体への見学対応や技術指導に努めるなど、先導的な役割を担っている。

すな た しょう けん
砂田 昇建（小矢部市）

昭和59年に松沢地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、37年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

平成28年からは松沢地方銀行の副会長を務め、頭取の補佐や活動グループへの情報伝達を担うとともに、花苗の配布や育成に毎年尽力している。

やま だ りつ こ
山田 律子（小矢部市）

平成16年に子撫地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、17年にわたり活動の推進役として組織の発展に貢献している。

活動拠点の花壇ではプランターを配置し、住民や小学生と花植えや水やりを通して交流を図るなど、緑化活動にも尽力している。

おく むら とし まさ
奥村 敏正（南砺市）

平成元年に南蟹谷地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成30年からは頭取として、延べ32年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

交通量の多い県道沿いでの花壇整備や、南砺市花と緑のフェスティバル実行委員として、地域の緑化活動に大きく貢献している。

かわ はら とみ こ
川原 智子（南砺市）

平成13年に西太美地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地元花壇の維持管理や公民館周辺の除草など、地域の美化緑化活動に大きく貢献している。

毎年、観光施設の花壇整備に従事するとともに、近隣地区が取り組む花壇整備等についても相談を受け技術的なアドバイスを行うなど、周辺地区の緑化活動にも貢献している。

なか ざわ あき こ
中澤 明子（南砺市）

平成13年に北山田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地域の緑化活動に大きく貢献している。

活動拠点の花壇を中心に、デザインや整備、維持管理等について年間を通して精力的に取り組んでいる。

たか ぎ とみ こ
高城 富美子（上市町）

平成3年に宮川地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、30年にわたり地域の緑化活動に大きく貢献しており、会員からの信頼も厚い。

活動拠点では、花苗配置のレイアウトや土づくりを中心に、長年の在籍で得た知識や技術を花壇づくりに活かしている。

やま もと み え こ
山元 美恵子（立山町）

平成7年に新瀬戸地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、26年にわたり地域の緑化推進に尽力している。

長年にわたり花壇を美しく彩り、人々の心に潤いを与える緑化活動に取り組んでおり、他のメンバーからの信頼も厚く、地域での緑化意識の向上に貢献している。

まつ ばら のり あき
松原 宣昭（入善町）

平成 20 年に青木地方銀行の頭取に就任して以来、13 年にわたりプラグ苗の育成や花壇整備など地域の緑化推進に貢献している。

銀行本店の主催する花壇コンクールの審査員や、ステップアップ研修の同期生で結成する会の事務局長を務めるなど、多岐にわたる活動に率先して尽力している。

ふじ た りょう じ
藤田 量司（朝日町）

平成 25 年に大家庄地方銀行のグリーンキーパーに就任し、令和元年からは頭取として、延べ 8 年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

地域の小学校において、花壇整備やプランターによる花苗の管理指導等の緑化活動に尽力している。

（団体の部）

かみほりえき あい かい
上堀駅を愛する会（富山市）

これまで花壇コンクール等に積極的に参加しており、令和 2 年度「富山市花いっぱいコンクール」においては一般部門で 3 回目の最優秀賞受賞となり、他の模範となるモデル花壇に認定された。

活動拠点は駅に隣接しており、駅利用者の心を和ませているとともに駅周辺の環境整備にも取り組んでおり、地域住民に大きな恩恵をもたらしている。

ぶんきょうまちこうえんあい ご かい
文京町公園愛護会（富山市）

これまで花壇コンクール等に積極的に参加しており、平成 30 年度「富山市花いっぱいコンクール」においては一般部門で 3 回目の最優秀賞受賞となり、他の模範となるモデル花壇に認定された。

活動拠点は富山市のコミュニティガーデンに登録されており、地域の子供達が花や野菜の栽培方法を学びに来るとともに、視察に訪れるグループにアドバイスをするなど会の枠を超えた役割を果たしている。

せんごくまちとお はなかいどう
千石町通り花街道グループ（高岡市）

横田中町自治会から千石上町 1 区自治会までの 8 つの自治会で、プランターによる苗の植え込みを積極的に行い、街並みを花で飾ることによって通行人に安らぎを与えている。

維持管理は 8 つの自治体が一体となって取り組んでおり、花と緑を愛する心豊かな人づくり及び花と緑のまちづくりの推進に取り組んでいる。

なか の はな みどり すいしんきょうぎかい
中野花と緑の推進協議会（砺波市）

平成 15 年に完成したふれあい花壇を活動拠点として地区住民や各種団体とともに活動し、地域緑化の普及啓発や意識の醸成に寄与している。

花壇周辺は、地域住民の憩いの場として定着してきており、また、せせらぎ水路はホタルの棲む花壇として通行人を楽しませ、心を癒やすなどの効果をあげている。

たか せ ち いき きょうぎかい
高瀬地域づくり協議会（南砺市）

地域にとって大切な継承財産である高瀬遺跡の周辺の公園花壇について、地域のボランティアグループとともに植栽や維持管理に取り組んでいる。

社会福祉協議会と自治会が合併した地域づくり協議会を発足しての共同作業は、地域の連帯感を醸成し地域緑化の普及啓発にも寄与している。

たてやまちょうりつたてやましょうがっこう
立山町立立山小学校（立山町）

小学校は昭和 54 年に設立した立山花とみどりの少年団に加入しており、学校花壇やプランター等による栽培活動を通して、子供達の自然を愛する心や命を大切にすることを育む活動を行っている。

子供達は自分で管理する花壇が美しくなるように育て方を調べ、地域住民と共に作業しながら世話の方法等を学んでおり、地域緑化の普及啓発や意識の醸成に寄与している。

Ⅳ 花と緑のコンクール表彰

1 花と緑のポスター原画コンクール

最優秀賞



富山市立堀川中学校 2 年
伊藤 咲音

優秀賞



富山市立大久保小学校 1 年
田口 世椰

優秀賞



砺波市立砺波北部小学校 5 年
嶋 乙希

優秀賞



射水市立新湊南部中学校 3 年
山 智香

優良賞



氷見市立窪小学校 6 年
松井 陽愛



砺波市立砺波東部小学校 3 年
津田 心透



片山学園中学校 2 年
柴山 拓哉



黒部市立明峰中学校 2 年
佐々木 優



射水市立新湊小学校 3 年
本江 桜章



氷見市立比美乃江小学校 4 年
谷井 知歩



佳 作



富山市立鵜坂小学校 1 年
杉林 直紀



滑川市立西部小学校 1 年
砂原 夏菜



立山町立釜ヶ淵小学校 2 年
林 咲柚希



富山市立鵜坂小学校 2 年
水野 晟玖



高岡市立下関小学校 2 年
永井 愛華



砺波市立砺波南部小学校 2 年
中山 栞杏那



南砺市立福野小学校 2 年
福井 志麻



高岡市立定塚小学校 3 年
頭川 史弥



富山市立水橋西部小学校 4 年
前田 夏綺



富山市立芝園小学校 4 年
鎌仲 陽菜子



砺波市立砺波東部小学校 4 年
藤田 晴希



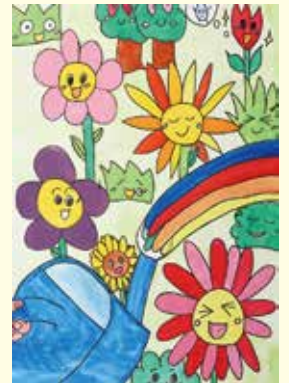
射水市立新湊小学校 5 年
本郷 亜美



小矢部市立石動小学校 5 年
前寺 優羽



砺波市立砺波南部小学校 5 年
太田 彩心



入善町立ひばり野小学校 6 年
大沼 葉月



富山市立船嶺小学校 6 年
西村 大希



富山市立中央小学校 6 年
都築 摩浩



高岡市立牧野小学校 6 年
名田 藍



氷見市立朝日丘小学校 6 年
笹村 莓花



砺波市立庄川小学校 6 年
横井 紗瑛

佳 作



南砺市立井波小学校 6 年
土田 菜緒



富山市立堀川中学校 1 年
安田 美来



富山市立大沢野中学校 1 年
加藤 瑚々



南砺市立吉江中学校 1 年
大門 綾芽



富山市立速星中学校 2 年
有澤 寧来



氷見市立南部中学校 2 年
池田 彩



黒部市立清明中学校 3 年
園家 由花香



黒部市立明峰中学校 3 年
藤橋 悠里



富山市立奥田中学校 3 年
高澤 泉千花



富山市立奥田中学校 3 年
山元 颯斗



氷見市立南部中学校 3 年
前 優花



小矢部市立大谷中学校 3 年
吉江 月碧



富山県立滑川高等学校 1 年
小竹 杏奈



富山県立富山北部高等学校 1 年
後藤 茉那



富山県立高岡高等支援学校 2 年
鍋田 将虎

総 評

富山県も急速な新型コロナの感染拡大を受け、子供達にとっては楽しいはずの夏休みも家で過ごす時間が多かったかと思います。今回の応募数は 3,600 点余りと昨年の 3 倍を上回る数となり、私達審査員にとっては嬉しい悲鳴でした。思いっきり外を走り回れる日を夢見て描かれたのか、明るい雰囲気作品が多く、未来に思いを寄せる気持ちが伝わりました。

最優秀賞評

最優秀賞の伊藤咲音さんの作品は、今までにない斬新な構図で独自性があり、色彩も豊か、仕上がりもとても丁寧で美しく、共感もたれました。全体に明るい色合いでチューリップ、すみれ、蝶が描かれ、その下に目を閉じた女性が明るい未来を花や蝶に託して思い浮かべているようで、観る人の心をひきつける魅力的な作品となっています。

(審査委員長 米田 雪子)

2 花と緑の標語コンクール

最優秀賞

花がさき 緑がゆれる 町がすき

富山市立大久保小学校 3年 高木 優衣

優 秀 賞

しんこきゅう みどりいっぱい おいしいな
ふしぎだな 一つの花で ゆうきでる
前を向け いかなる時も 花は咲く

南砺市立南砺つばき学舎 1年 高田 玲奈
射水市立金山小学校 2年 平尾 零
富山県立砺波高等学校 2年 中野 陽香

優 良 賞

そよかぜで おはなばたけが わらってる
花畑 みんなのこせい かがやくね
花だんの花が おでむかえ ぼくの心がほっかほか
世界一！ サンバが上手な お花たち
コロナでも 緑があれば 元気出る
花の道 作る祖母らは 未来見る

富山市立大久保小学校 1年 永田 彩恵
富山市立新庄北小学校 3年 杉本 嘉樹
朝日町立あさひ野小学校 5年 水野 史琉
富山市立大久保小学校 5年 丹羽 洸太
富山市立大久保小学校 6年 牧野 陽馬
南砺市立南砺つばき学舎 9年 藤長 凌

佳 作

げんきだね まいにちみてるよ ちいさな芽
はなばたけ はなのおんぶが うき上がる
花の道 あるいてみれば えがおさく
お花はね みんなをいやす 太陽だ
夏の朝 お花がおどる ルンルンルン
折にふれ 笑顔集まる 憩いの花壇

富山市立大久保小学校 1年 押田 遼
富山市立大久保小学校 3年 宮本 愛梨
射水市立金山小学校 4年 山屋 頼斗
入善町立桃李小学校 4年 小堀 太雅
朝日町立あさひ野小学校 5年 稲垣 心
南砺市立福野中学校 3年 大窪 小晴

総 評

新型コロナであわただしい毎日でしたが、多くの作品が寄せられました。小・中・高校生が花や緑に目を止め、感じた驚きや喜びを伝える言葉は、自然の不思議や秘めた力などに改めて気付かせてくれます。花と緑やそれを守り育てる人々に注がれる優しいまなざしや考えたことを生活の中でも生かそうとする気持ちや態度が伝わると、作品の説得力は一層増します。



最優秀賞評

最優秀賞を受賞した高木優衣さんの作品は、『町がすき』と言い切るにより、余韻が強く残ります。花と緑から受け止めた思いが人や地域、自然との向き合い方にも及んだことなど、いろいろなことを想像することができます。思わず口ずさみたくなる言葉の響き、なめらかさにも感心します。

(審査委員長 山本 晶)

3 富山県花のまちづくりコンクール

(1) 学校花壇

最優秀賞



高岡市 成美小学校

優秀賞



富山市 船嶺小学校



黒部市 中央小学校



黒部市 石田小学校



射水市 塚原小学校



優良賞



高岡市 南条小学校



富山市 老田小学校



氷見市 窪小学校

奨 励 賞



射水市 作道小学校



砺波市 庄東小学校



入善町 飯野小学校

総 評

1学期の終業式を目前にした7月19日、20日が審査日となりました。

昨年から続く新型コロナ感染防止の対応がある中、各学校では、子どもたちを主体にした学校花壇作りが進められ、花々は彩り豊かに元気に育っていました。生育状況は全体的に良好でしたが、湿害や虫による対応に苦慮した学校もありました。畝を作って湿害対策とする学校、プラグ苗や、室内で越冬したベゴニア苗を使う学校もありました。また、草取りや灌水の省力化が工夫され、子どもたちが楽しく花壇作りに参加できるようにした学校もありました。

各学校では、今年開催の東京オリンピックの五輪を描くなど、それぞれテーマを設けてデザインが決められていて、景観との調和、色の組み合わせに配慮したデザインとなっていました。大きく育つ苗を後ろに配置するなど、栽培技術に優れた大人の指導も子どもたちの花壇作りに役立っているようです。学校配布の苗に加えて特徴ある苗を配置したり、宿根草や樹木とのバランスを考えたりした花壇が印象に残りました。

学校花壇の活動を通して、子どもたちが花や緑に親しみ、様々な学びを得ていることが伺えました。学年単位や異学年交流（ファミリーグループ）など、取り組み方もいろいろですが、苗が盛り上がり大きく育っていく様子に感動し、除草作業や花摘みに汗をしながら草花の育ちを応援していることが伝わってきました。そして、地域の方々の協力に感謝し、教職員と関わり合って花壇作りが進められていました。

花壇作りをすることで子どもたちの笑顔が増えて学びが重なること、またその活動を通して保護者や地域の方々とのかわりが一層豊かなものになることを願います。



最優秀賞評

「新型コロナウイルスにも負けず、明るく元気に、そして笑顔になる花壇をつくろう」、本年も昨年と同テーマで取り組んだ『高岡市立成美小学校』が最優秀賞を受賞しました。

審査では、栽培委員会の子どもたちが、学年ごとにデザインを工夫し、活動の楽しさなどを生き生きと語り、日本一美しい花壇を目指して活動する意気込みが伝わってきました。成美校下花と緑の推進協議会からは、牛糞等の搬送や混ぜ込み・苗の育成などの協力を得、土作りや苗植えは保護者・教職員の力を借りています。花の生育状況が大変良く、「世界に一つだけの花壇」ではコロナがおさまリ、世界平和を祈る朝顔の虹がもう少しで出来上がるようでした。

花壇で使う予備苗を鉢植で準備して、大きく育った花鉢を空いたところに埋め込むようにして構成されていました。入口ゲートには特別支援学級の子供たちの手作りというキラキラ光った玉が数連下がっていて目を引きました。学校と地域の力が学校花壇に寄せられているところが素晴らしいと思いました。学年で育てている植物も配置され花壇に変化を持たせています。また、常緑の樹木との調和もよく考えられています。

この生育状況を支えたのは、深く耕したよい土と植栽後の熱心なお世話であると思います。これまでの財産を生かした花壇づくりが長年継続されていることに敬意を表します。色彩豊かに生き生きと育った花々が、不安の多いコロナ禍の世界に明るい夢を届けているようでした。

（審査委員長 五十嵐 俊子）



(2) 幼稚園・保育所花壇

最優秀賞



富山市 新庄保育所

優秀賞



富山市 老田保育所



高岡市 成美保育園



優良賞



射水市 小杉西部保育園



富山市 宮川保育所



氷見市 速川保育園

総 評

本年度の幼稚園・保育所花壇部門は、前年と同様で4市6施設と少なく、やや寂しい応募となり、中には花壇の規模をかなり縮小するところも見られました。これらは、新型コロナウイルスの影響とも推察されますが、残念に思いました。

また、今年は梅雨明けが7月14日と平年に比べ9日も早く、その後、連日30℃を超える暑い日が続いて、水やりなど管理の苦勞が伝わってきました。

このような状況の中で、審査対象の施設ではいずれも、事前に園児の希望を聞き取りして計画が立てられ、園児の目線を大切にし、興味や好奇心を引きつける工夫が随所に見られて、大変微笑ましく

楽しい気持ちにさせてくれました。また、いずれの施設も限られた予算とマンパワーの確保に苦労されている中で、花壇の良否は中心的に携わっている方々の熱意に左右されていることを改めて実感させられました。

次年度は、一日も早く新型コロナウイルス禍が治まって、多くの市町村から応募があるよう期待します。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した、富山地方鉄道東新庄駅近くにある『新庄保育所』の花壇は、土づくりを含めて栽培管理がしっかりと施されているとともに、園児の興味をそそる様々な工夫や仕掛けを凝らすことによって、変化に富んだ楽しい花壇になっていることが高く評価されました。

具体的には、施設の出入口で、園児が描いた地鉄電車のプランターカバーを付けた3種類の花電車の出迎えを受け、園舎南側の通路ではチトニアなど色彩豊かな花が咲いている細長い花壇にコキアを植え、目口を付けて「トトロ」や警察マスコットの「ポンタ君」に変身。西側通路では、草花に混じって種々の野菜が植えられており、小玉や黒色のスイカや白色ナスなどが一般的な品種とともに栽培されていました。野菜も花壇の一員として仲間入り。また、年長児や年中児が育てた巨大ヒマワリやミニヒマワリが交互に開花・・・

さらに、敷きワラ、土や苗等の資材の提供や花壇の土づくりに地域の人々の支援・協力を得て、その輪が広がっていることも評価されました。

(審査委員長 森松 敬)

(3) プレミアム花壇

最優秀賞



射水市 市井コミュニティ花壇

優秀賞



南砺市 梅ヶ島フラワー街路の会



射水市 小杉花作り同好会

優 秀 賞



富山市 寺崎啓乃



富山市 八尾園ふれあい花壇



砺波市 梅檀山花と緑の推進協議会



優 良 賞



小矢部市 野ぎくの会



砺波市 五ヶみちグループ

総 評

今年も、新型コロナウイルスの感染防止対策をしながらの花壇づくりとなり、引き続き御苦労されたことと思います。対象の8花壇は、プレミアム花壇に推奨されているだけあって自由な発想によるデザインが多く、なにより栽培している皆さんが楽しんで花壇づくりを行っているのが印象的でした。

活動・取組みについては、個人、団体では比較できないものの、それぞれが花壇を通して地域との交流を継続的に行っていました。栽培管理については、花壇面積の大小、敷地の高低差、購入苗、自家採種による苗づくり、こぼれ種の利用など様々な違いがある中、灌水時間の短縮、開花調節など独自の技術の積み重ねがありました。デザインについては、それぞれの個性を発揮されオリジナル性が感じられるすばらしい花壇ばかりでした。

今後の課題としては、アガパンサスなど開花期間が短い宿根草を主役にしてしている花壇は一年草の割合を増やすこと、マルチングとしてバーク堆肥やモミガラ牛糞堆肥を大量に花壇に入れ続けることにより、有機物の割合が土よりも多くなることで起こる生育障害の対策、そして、少しだけ今年と違ったデザインに挑戦するなど、今後を見据えた試みを楽しみながら行うことを期待いたします。



最優秀賞評

最優秀賞を受賞した『市井コミュニティ花壇^{いちのい}』は公民館に隣接し、「きららか射水100歳体操」後のふれあいの場として、また、子供たちが家族と遊びに来るなど、地域の人々が集まる花壇づくりに成功していました。

テーブルとイスを囲むように草丈の高い真っ赤なカンナや紅色と黄の複色のハゲイトウ等の花壇があり、トロピカルな色合いの植物に囲まれて座ってみたいくなるデザインになっていました。花壇の境界にある排水路に竹穂を水平に一本ずつ並べて、花壇の植物が竹穂の上を覆ってゆくアイデアや台風前の準備として背の高い植物に支柱を行うなど、きめ細やかな管理が行われていました。また、切り戻しによる見頃のコントロール、適切な株間など、優れた栽培技術も見受けられました。

今後の課題としては、マルチングとして利用しているバーク堆肥を継続的にすき込むことによる生育障害について検討する必要があるでしょう。



(審査委員長 渡邊 美保子)

(4) 一般花壇

最優秀賞



富山市 文京町公園愛護会

優秀賞



砺波市 南般若花と緑の推進協議会



南砺市 北部花緑愛好会



高岡市 高岡市立醍醐公民館
花と緑の推進部会

優 秀 賞



砺波市 般若緑花推進協議会



射水市 浅井きらりガーデン



優 良 賞



南砺市 玉成花壇愛好会



小矢部市 北蟹谷花と緑の友の会



入善町 花と緑の銀行入善支店 礪波地方銀行



射水市 水戸田モデル花壇



上市町 花と緑の銀行上市支店



富山市 合口用水とビオトープを守る会

奨 励 賞



小矢部市 福上花愛好会



魚津市 経田花と緑の振興会



努 力 賞



高岡市 蔵野町花の愛好会



氷見市 余川ふれあい花壇

総 評

今年の一般花壇コンクールは完成度の高い素晴らしい花壇が多く、近年稀に見るレベルの高い激戦となりました。また、猛暑をものとしめない花の生育量や色の鮮やかさにも圧倒されました。土づくりや早めの切り戻しなど、花づくりの基本技術が確実に実践されるとともに、沢山の愛情をかけて育てられていらっしゃることに感動しました。

東京オリンピックにちなみ、五輪マークや聖火台をイメージしたデザインの花飾りも見られ、花壇づくりを通して応援する様子も印象に残りました。また、花壇を管理されている方々がとても楽しそうで、花壇をより一層盛り上げるために、個性溢れる寄せ植えやハンギングバスケットをおしゃれに飾られ、見る人の心を強く引き付ける魅力も感じられました。

さらに、積極的に話しかけられる人が多かったことも特徴でした。「今年はこういうふうに変更しました」、「どうしたらもっと良くなりますか？」など、前向きに花壇活動に取り組まれている様子が強く伝わってきました。「近くの花壇を見て回りました」など、勉強意欲がとても高く、県内全体で切磋琢磨しながら花のまちづくりが進められていました。

少しでも多くの人達に、花壇づくりの楽しさを知って欲しいと地域の人々に呼びかけて、樽プランターの寄せ植えコンクールを開催したり、花壇活動のホームページを開設したり、さらには、スマホを活用してフェイスブックで発信するなど、若者顔負けのPRに取り組まれていることも新しい発見でした。また、熱心な花壇づくりだけでなく、綺麗に咲いた花々を楽しむために、観賞用の休憩コーナーを設けたり、協力いただいた方々を招いてティーパーティーのおもてなしをしたり、花壇を積極的に活用する工夫も素敵でした。

「楽しむ花壇づくり」がこれからのキーワードになることを感じられるコンクール審査でした。



最優秀賞評

最優秀賞を受賞した『文京町公園愛護会』の花壇は、高さの異なる3段階のマリーゴールドの立派な花の壁が出迎えてくれました。足もとには矮性種、中段にフレンチマリーゴールド、1.5mほどの高さに高性種を配置し、見事に咲き揃えられていました。さらに、背の高いヒマワリ、アサガオの緑のカーテンは、公民館の赤い屋根や青い空ともマッチして迫力満点の空間が創られていました。公園全体が花壇で囲まれていて、各コーナーにルドベキア、フロックス、ペチュニア、トレニア、芙蓉などが咲き、どの角度から見ても、花を楽しむ工夫が印象的でした。花壇の一角には2個の大きな堆肥盤が設置され、完熟堆肥を花壇に活用することに努められており、元気な花づくりのための大切な基本技術を教えていただきました。

また、花々の間にトウモロコシや枝豆などが立派に実り、夏祭りなどの公民館活動の際に若者や子供達に食べてもらい、美味しい野菜を通して、花壇づくりに興味を持ってもらいたいとの願いにも、強く共感と感動を覚えました。



(審査委員長 山本 良孝)

(5) 花の道

最優秀賞



南砺市 桐木花と緑の推進協議会

優秀賞



富山市 新庄北小学校 & 地域団体



高岡市 立野栄町花づくり会



砺波市 高波花と緑の推進協議会

優良賞



高岡市 下伏間江地域環境保全委員会



富山市 大沢野上大久保地区
花いっぱいグループ



砺波市 太田福寿会



射水市 フラワーロード土田自治会



南砺市 東太美心安らぐ花の道



奨励賞



南砺市 南部第六福寿会



氷見市 柳田活性化推進連絡会



総 評

今年も花壇管理に汗しながら取り組み、昨年に増す応募をいただいたことに感謝申し上げます。総じて、今年の花の生育は昨年と比較するに良好かなという印象を受けました。ただインパチェンスなどの多肉質のものやサルビア等はその特性を発揮していないものも見られ、高温や立地条件など、さすがに栽培技術だけではいかんともし難いのかと首肯させられるものも見られました。高温の恒常化に対応して幅広い知恵を絞り出すことも必要かと。

印象的だった事例について紹介したいと思います。

高波花街道は水田の中の主要道路の袖に展開する花壇ですが、大き目の樽で年月を重ねた木本の黄緑が周囲を切り裂く鮮烈な印象を受けました。サルビアやガウラ等の生育に弱いところが見られたのですが、高低差でコンクリート面からの照り返しを防ぎ、他の道路際の花壇とは一線を画すものになっていました。

新庄北小学校横の花壇は、現在開花している花壇の対面の法面を活用しチューリップ、スイセン、シバザクラと観賞期間の延長を図る工夫が見られました。ルドベキア等の生育は旺盛で黄味の強いオレンジ色中心の見事なものでした。見る人の視線に沿って、花の配置、高低差などデザインに一工夫があればさらに素晴らしいものと思いました。

車道からの水はね対策に前面にプランターを配した下伏間江花壇や立地の制約からプランター・ハンギングのみで、これほど立派に思うような土田自治会の花壇も見られました。

地域との連携活動では、多くが組織的な活動を展開しており、労力のかかる花の道ならではの思いがつのりました。左様であるがゆえに、地域との連携をさらに深めるとともに、今後の継続的・持続的な運営が可能のように、どこを工夫すべきか検討するべき時期に来ているように感じます。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した『桐木花と緑の推進協議会』の花壇を最初に見たのは10年くらいも前になるうか。農道にせり出した花が差出がましい印象を持った記憶がありますが、今年は遠くの山影と近くの水田という借景に実によく馴染み、よくもここまでという印象がありました。花壇に点在するオミナエシやナデシコの前で、「秋の野に咲きたる花を指折り・・・」という万葉の一首を思い出し、千年以上前の花と道とはどのようなものだったのだろうかという感興を抱いてしまいました。

200 mはあろうかという花壇をテーマごとに4区分し、土づくり・保水雑草対策に堆肥を利用することで生育も申し分なく、特にメランポジウムは咲き誇る様相でした。宿根草やこぼれ種も積極的に利用されデザイン、栽培技術においては特に高い評価を受けました。

中核となる会員の確保では是非とも継続していただきたいと思います。 (審査委員長 提 義房)

<令和3年度花と緑のコンクール審査員>

○ 第47回花と緑の標語コンクール

山本 晶 立田ひろみ 関口 和美 木原 和夫 山下 大樹 長谷川道隆

○ 第49回花と緑のポスター原画コンクール

米田 雪子 山達 雅美 越谷なつみ 関口 和美 木原 和夫 山下 大樹 長谷川道隆

○ 第48回富山県花のまちづくりコンクール

川原 俊昭 越谷なつみ 大井 巖 五十嵐俊子 兼本 正 森松 敬 久恵 早苗
原田 智洋 浅井田鶴子 吉田めぐみ 渡邊美保子 中田 政司 十二町 薫 西尾 倫顕
提 義房 石崎 弥佳 高田 敏充 高橋 一臣 山本 良孝 川崎 弘美 古崎 三夫
加藤 誠一 山下 大樹 長谷川道隆 (順不同)

VIII 花と緑の講演会

「心と体にやさしい花と緑の力」

千葉大学大学院園芸学研究院

岩崎 寛 (いわさき ゆたか)

1. はじめに

緑地や植物に求められている機能は多様化しており、特にストレス負荷の高い都市域においては植物によるセラピー効果が求められています。近年、これらの効果が医科学的に検証され始めたことや、「治療からケア」へといった予防医学の流れから、植物のセラピー効果に対する期待がさらに高まっています。すでにメンタルケアやリハビリテーションの分野においては、植物を活用したセラピーが導入されており、作業療法の一環として園芸プログラムを取り入れる作業療法士や、オフィスにおけるメンタルケア対策として、オフィス緑化の推進や社員研修に森林セラピープログラムを導入する会社などが増えてきました。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、今後はコロナ対策と共に生活を進めなければなりません。ストレスの多い生活が続くことから、植物によるセラピー効果がより注目されています。

しかし、その植物によるセラピー効果のメカニズムや、生理・心理的效果に対して、十分な知識や理解を持たずに実践・展開されているケースも見られます。

そこで本講演では、はじめに植物のセラピー効果に関するメカニズムについて、実験結果を元に解説します。その上で、様々な対象者への実践結果と共に、with コロナ時代における植物の活用方法について紹介したいと思います。

2. 緑と触れ合うことで健康になる、そのメカニズム

人は様々な環境の変化に対応して、生体内の状態を一定に保って生存を維持しており、この性質を恒常性（ホメオスタシス）と呼びます。この恒常性は神経系、免疫系、内分泌系の3つの系の相互のバランスにより維持されており、このバランスが崩れると体に支障を生じます。人にストレスがかかると、バランスが崩れ、人は体調を壊します。植物によるストレス緩和は、この恒常性回路に直接影響するのではなく、恒常性にストレス刺激を与える部分に働き、その刺激を緩和させることで、恒常性を正常に保ち、体調を維持するものなのです。よって、植物によるストレス緩和効果は、「病気を治す」ことではなく、「体調を元の（良い）状態に戻す」ことと言えます。森林療法や園芸療法、芳香療法など、「療法」という名前がつくと、一般的なイメージとしては「病気を完全に治すもの」と誤解されることが多いため、まずはこのメカニズムを理解することが重要です。

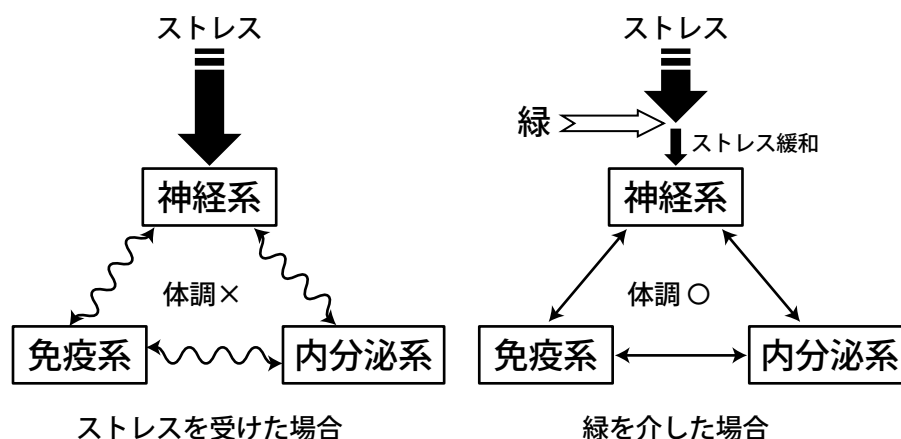


図-1 緑によるストレス緩和と人間の恒常性の関係

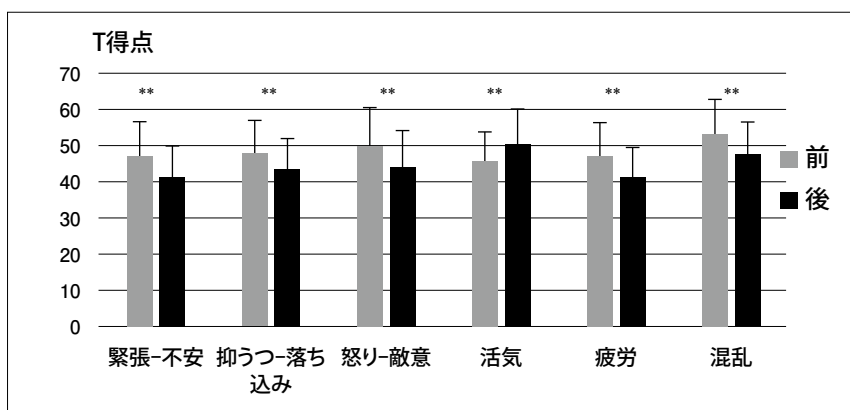


図-2 園芸プログラム前後における POMS (感情プロフィールテスト) T 得点の変化
 正の感情である「活気」は上昇し、その他5つの負の感情は減少したことから、
 園芸プログラムによる感情の改善効果があきらかとなった。



写真-1 高齢者施設における園芸療法
 車椅子の方と花がら摘み



写真-2 高齢者施設における園芸療法
 レイズドベットを用いた野菜の栽培

3. 参考資料

<書籍>

- ・「環境と福祉」の統合 (廣井良典編)、有斐閣：第5章「緑地福祉学の構想と実践」
- ・フラワー・グリーンビジネスの最新動向と市場、シーエムシー出版：第5章「社会的課題に対する植物の健康効果の活用」
- ・最新農業技術花卉vol.3、農文協「日本の園芸療法の現状と今後」

<雑誌>

- ・雑誌「グリーン情報」、2017年5月号 (vol.467) から『ヒーリング時代の緑の使い方』を連載中。
- ・NHKテキスト「趣味の園芸」2020年4月号～2021年3月号「心と体にやさしい園芸療法」を連載。
- ・家庭画報2020年11月号 (10月1日発売) 特集「健康寿命を延ばすガーデンセラピー」執筆・監修、WEB版 <https://www.kateigaho.com/migaku/90566/>

<動画>

- ・植物と共に生きる。ニューノーマル時代の新しい生き方【BOTANIST】Youtube <https://www.youtube.com/watch?v=F1LLn00iBEQ>

令和3年度

富山県花と緑のコンクール 入賞作品展

と き 令和3年12月10日(金)～12月26日(日)

ところ 富山県中央植物園 サンライトホール

令和3年度

花とみどり・ふれあいフェア(予定)

と き 令和4年2月26日(土)～2月27日(日)

ところ 富山市婦中町 フューチャーシティ ファボーレ



はなびー



令和2年度 花とみどり・ふれあいフェア



公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923

<https://www.bgtym.org/fgbank/>

花と緑の銀行だより 221号

～ 第49回花と緑の大会大会誌 ～

発行日 令和3年(2021)10月